

④ 市民投稿システム→『みんなで！山陰』

○市民(圏域内外)の相互交流を促しながら、圏域全体の活性化を図るとともに観光資源を発掘することを目的として、自由に投稿できる参加型の情報投稿サイトを構築した。

■ 現状:山陰観光 旅のポータル



新規作成

連携・補完

■ みんなで！山陰



1) 事業の経過

時期・月日	事業経緯・出来事
10月～	i. 事業概要の検討
11月～	ii. 事業内容の検討 (11月27日) 第1回IT関係者会議 (12月8日) 第2回IT関係者会議
12月22日	iii. システム構築着手 第3回IT関係者会議
1月29日～	iv. チラシ配布・宣伝
2月3日～	v. 市民投稿システム「みんなで！山陰」運用開始
2月28日～	vi. 利用者数の評価と投稿内容の分析及び広告収入の可能性の検討 vii. 協賛の可能性がある企業等への営業活動 viii. 広告収入の可能性の検討 ix. 関係者への意見、成果、課題等の聴取

2) 事業の実施結果

i. 事業概要の検討

- ・「旅のポータル」について、一般市民からの口コミ情報の投稿システム・コーナーの追加の可能性について検討した。
- ・「旅のポータル」では、洗練されたデザイン・記事の掲載を最重要視しているとともに、情報の精度や信憑性も大切にしたいとの考えがあることから、現サイト内に口コミ情報コーナーの設置が困難と判断した。
- ・アドバイザーより、「中間支援組織が運営すべきポータルサイトには多様な主体間の連携を強化する機能が最も重要であり、労力負担も抑えるべき」と意見をいただくとともに、口コミ情報サイトの検討にあたり、中間的な支援にも理解のある事業者を紹介していただいた。

ii. 事業内容の検討

- ・事務局スタッフを中心にIT関係者会議を開催し、事業の詳細について検討した。

■ 議論により抽出されたアイデア

- ・圏域内市民が、気軽に参加でき、参加して楽しさを理解してもらえるシステムが重要
- ・圏域外市民が旅行の感想を投稿することで、圏域外から地域資源を掘り起こして啓発するしくみも重要（むしろ圏域外市民が地域づくりを引っ張っていくイメージで、投稿量も圏域外市民からが7割程度を目指すべき）
- ・携帯電話からの投稿・閲覧を可能とし、リアルタイム性を重視すべき（人と人との「縁結び」の可能性もあってもよい）
- ・投稿ジャンルについては、観光資源につながるものであれば幅広くすべき（お店の情報、美しい景色、今こんな活動をしています、など）
- ・システムもさることながら、宣伝や使用方法の説明も重要
- ・参加者が多くなれば、バナー広告による収益確保が可能。または登録メールアドレスに企業広告を発信することも考えられる
- ・タウンサイト運営者が作成する情報等、自動でポータルサイトの情報も更新されるシステムを組み込むことも考えられる

- ・メンバーで議論した結果、事業の具体的イメージや地域振興における効果が具体化でき、共有できた。

iii. システム構築着手

- ・システムの内容とともに、構築の委託先を決定し、システム構築に着手した。

■ システムの内容

- ・パソコンや携帯電話から、体験したことを写真付きで自由に投稿できる
- ・投稿記事には返事ができる
- ・携帯電話から投稿した際には、投稿記事に返事がされた場合に連絡メールが届く
- ・投稿時には、位置情報を添付でき、地図にプロットされる
- ・自分の作成したブログを登録できる
- ・キーワード検索を可能とし、ランキングも表示する

iv. チラシ配布・宣伝

- ・専用のチラシを5,000枚作成した。また、後述のインターネット相談事業とあわせたチラシについては、約2,000枚作成した。これをもって以下の方法で宣伝を行った

■ チラシ配布・宣伝先

- ・圏域内全NPOへ郵送配布
- ・理事会メンバーを通し、圏域内全自治体に対して、窓口設置や自治体ホームページへの掲載、全公民・館や各種公共公益施設へ設置を依頼
- ・事務局スタッフ等で各種公共公益施設へ設置を依頼（出雲・米子の両空港、観光案内所、しまねNPO活動支援センター、松江テルサ等の公共公益施設等）
- ・事務局スタッフ等によるロコミ・情報掲示板・バナーリンクによる宣伝
- ・圏域内の観光振興等に関するメーリングリストへの投稿

- ・周知・宣伝活動を行った際に、市民等から、本サイトを運営する仮想中間支援組織に対する疑問や、特定の組織が関わっているのであれば宣伝・参加しないとの意見があった。これらのことから、中間支援組織には、信頼性と中立性が求められることが実感された。

v. 市民投稿システム「みんなで！山陰」運用開始

■ 投稿件数のまとめ（2月3日～3月11日の37日間）

- ・約1.1万件の閲覧があった。
- ・172件の投稿記事があり、このうちレス(応答)あったものが97件、地図情報があったものが41件であった。
- ・ジャンル別にみると、食べ物がおいしい（店舗・商品等紹介）：48件、賑やかな祭り・イベント（祭り・イベント紹介）：23件、豊かな歴史・文化・伝統（歴史・文化紹介）：17件の順に多い。
- ・ブログは34の記事が登録された。

■ 投稿記事に対するやり取りの例


投稿写真 みんなが投稿した写真にコメントをつけてみよう！

[2007年02月04日] ハラモ



武者行列の練習中です！in母衣小学校体育館

寒い中ですが、頑張ってます☆

投稿時刻 / 14:10 | [コメント\(2件\)](#)
削除用パスワード [削除する](#)

この写真へのコメント

武者行列ですか!!4月に松江であるイベントなんですよ。楽しみです☆☆☆松江城まで練り歩くのかしら?

投稿者 / きょん: 2007年02月04日 14:23

武者行列は4月7日(土)に松江開府400年祭のオープニングとして天神ロータリー→松江城を練り歩いて開催されますよ！みんな着物でぜひ見に行きましょう！！

投稿者 / ayaz: 2007年02月04日 21:12

Quick Menu

「みんなで山陰」の投稿写真にコメントしたい!

パソコンから今すぐ投稿したい!

自分のブログの記事を今すぐ掲載したい!

あしあとMAP

投稿が地図とリンク!



位置情報が付けられた画像をマップ上で閲覧！どこでどんな景色が見えるかな？

あしあとMAP

■ 活動・撮影場所を地図で表示した例

地図 | 航空写真 | 地図+写真



[2007年2月15日]

[一畑電車](#)

松江しんじ湖温泉駅から出雲大社方面へ向かう一畑電車です。チョロQもかわいいんですよ。

コメント(1件)

[2007年2月15日]

[こやあこやあ](#)

水木しげるロード!こまちゃんちゃん達がいます。ネコ好きの方は「ネコ娘」の銅像とともに探してみては?

コメント(0件)

地図データ ©2007 ZENRIN - 利用規約

vi. 利用者数の評価と投稿内容の分析

- ・サイトの開設から25日間でトップページへのアクセス数が7,898件に達し、既存の観光系ポータルサイトに匹敵する件数であることから、立ち上げ当初のサイトとしては、相対的に利用者は多いと評価した。

■ 他の観光系ポータルサイトのトップページアクセス数（1/24～2/7、2週間計）

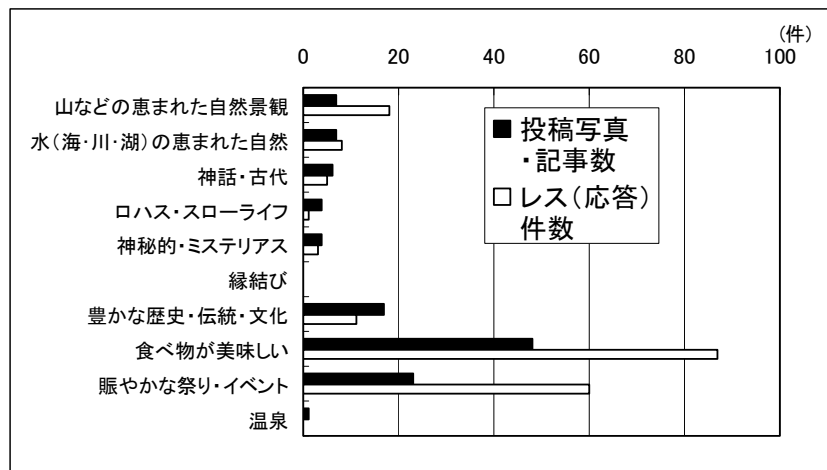
山陰旅のポータル	(5,019件) ※	25日換算 ⇒	(8,963件) ※
山陰観光連盟	1,175件		2,099件
さんいん旅ネット	3,134件		5,597件

※ 山陰旅のポータルについては、再読み込みした場合にはカウントに含めていない。
各ホームページアクセスカウンターより中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織調べ

- ・投稿記事について、内容からジャンルを整理し、「圏域イメージ」や活発な意見交換を促す工夫に関する考察を行った結果、市民の応答・交流を促すためには「食べ物」や「祭り・イベント」といったテーマの情報について収集し発信することが有効であることを導き出した。

■ 投稿内容の分析

市民投稿サイト「みんなで！山陰」へのテーマ別投稿情報件数（2/3～3/11、37日間）



中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織調べ

→ 市民の関心は「食べ物」「祭り・イベント」「歴史・伝統・文化」「自然」の順に高い。特に「食べ物」「祭り・イベント」「自然景観」情報については応答件数が多いことから、地域内交流・観光の促進に向けては、このような情報を適切に配信することが有効。

vii. 協賛の可能性のある企業等への営業活動

- ・協賛の可能性のある企業や各種活動団体に対して、サイトのデザインや内容、投稿記事・応答の事例を持参し、情報提供と連携の検討について働きかけを行ったところ、資金的な協力(広告等)やサイトの活用に対する要望があった。
- ・また、他のポータルサイト運営者に対して連携の可能性を提案したところ、検討してみたいとの意見をもらえた。

viii. 広告収入の可能性の検討

- ・本圏域において各種情報を提供するサイトの広告料金について、事例調査を行ったところ、8,400円～31,500円/月であった。
- ・カウント方法が複数あるサイトアクセス数と広告料金に明確な相関は確認されなかったものの、桁違いにアクセス数が多く、料金も高い山陰中央新報のサイトを除いて広告収入の可能性を検討した。
- ・市民投稿サイト『みんなで!山陰』のバナー広告料金を、平均的な料金である10,000円/月と設定し、仮に10件の有料バナー掲載があった場合には、年間120万円の収入が期待できることがわかった。

■ 各種サイトの広告料金

サイト運営者	広告料金	バナーサイズ等	(参考) アクセス数
松江市役所	15,000 円/月	W120×H60 ピクセル 5つの広告あり	トップページアクセス数 約 5.6 万件/月
中海テレビ	8,400 円/月	W120×H60 ピクセル 1つの広告あり	トップページアクセス数 約 6 万件/月
山陰ホームページ ナビゲーター	31,500 円/3ヶ月 (=10,500 円/月)	W200×H50 ピクセル 7つの広告あり	平均ページビュー※ 約 1,500～4,000/日 (4.5 万～12 万件/月)
日本海新聞	10,500 円/月	W120×H60 ピクセル (より大きいサイズあり) 10以上の広告あり	ページビュー※ 約 12.6 万件/月
山陰中央新報	31,500 円/月	W130×H50 ピクセル (より大きいサイズあり) 10以上の広告あり	ページビュー※ 約 450 万件/月

※ トップページのみならずサイト内の全てのページの閲覧総数をいう。

各ホームページ等より中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織調べ

ix. 関係者への意見、成果、課題等の聴取

- ・携帯電話からの投稿やお店の情報なども投稿可能とし、応答があったことを通知してくれる機能など、気軽に利用・参加できるシステムを構築したことから、多くの市民に参加してもらえたのではないかと、との意見があった。
- ・各種活動団体の中には、携帯電話で投稿できることや地図で位置を確認できる機能などに興味をもっていただき、次年度以降に本サイトのシステムを改良しながら活用を望む意欲的な団体も現れている。
- ・市民からはどのような情報でも投稿できるが、体系化されていないことから閲覧しづらいう上、地域振興にどの程度つながるかが未知数である、との声が聞かれた。

3) パイロット事業の成果

i. 地元の取組みにより深く関連する成果

- ・市民が体験したことを自由に投稿でき、共有できる場がインターネット上に設置できた。
- ・観光・交流を促す生活レベルの各種情報を収集できた。

- ・市民・各種活動団体が活動内容や体験の紹介・共有を行った。
- ・広告収入の可能性が見込めることから、システム運営及び中間支援組織の継続運営の可能性が見出せた。
- ・安全安心マップや市民活動促進など、様々なテーマでの本システム活用の可能性も考えられる。

ii. 中間支援組織のあり方に関連する成果

- ・中間支援組織は、多様な主体が自ら発信する情報を活発に交換できる場を提供し、これを管理する役割を担うことが重要である。
- ・中間支援組織が自ら情報を収集・発信する機能としてポータルサイトを保有することも考えられるが、情報収集には多大な労力と経費が必要となるため、市民投稿システムのように多様な主体が個々に情報の収集・発信を行い、それを共有できるシステムを構築・運営することが情報基盤の充実につながる。
- ・中間支援組織の継続運営のための収益確保が期待できる。

4) 今後の課題・期待される取組み

i. 活用・宣伝方法

- ・小学校の教材としての利用（小学生が地域について学習する際の一つの教材として活用）
- ・投稿・応答件数や閲覧数といったデータ、具体的な投稿・意見交換の状況などの運用実績のデータに基づき、企業への広告・協賛依頼を実施する
- ・本圏域隣接地域まで活動を広める（島根県の地域ITリーダー養成講座対象地区など）

ii. 参加意欲の維持・向上に向けたしくみづくり

- ・特派員への昇格システム、企業の協賛によるアワード(表彰)など

iii. 機能の拡張

- ・デザインを変える・改良する
 - 季節に応じたデザイン・レイアウトの変更など、飽きのこない改良が必要
- ・地域振興に向けた市民活動の充実・交流を促すしくみ
 - 単なる投稿サイトではなく、地域振興の誘導に資する情報収集・発信や交流を促すよう、システムの改良が求められる。また、集めた情報を整理・分析し、情報基盤として活用も求められる。
- ・機能拡張を行う
 - 店舗やタウン系サイトが本サイトに投稿する際、量が膨大となることから、労力の削減に向けて、自サイトにアップロードすれば自動的に本サイトも更新されるシステムを構築することが考えられる。
- ・収益事業として展開していく
 - 利用者を増やししながら、民間企業等からのバナー広告により収入を確保することが考えられる。さらに、メールアドレスをリスト化してメーリングリストに企業広告を掲載した情報発信等、様々な収益確保方法が考えられる。